冷凍空調高圧ガス保安大会

保安意識の高揚図る

県冷凍空調工業保安協会

県冷凍空調工業保安協会（前田伊三郎会長）は26日、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で冷凍空調高圧ガス保安大会を開き、会員や来賓ら多数が出席して講話や講演会などを実施し、保安意識の高揚を図った。

同大会は、10月23日から29日までの「高圧ガス保安活動推進週間」に合わせて全国一斉に行われたもの。

冒頭、挨拶に立った前田会長は「地球環境問題に対して我々専門業が率先してフロン回収を徹底するなど、地球環境を守っていかなければならない。これからも事故に十分注意を払い、業務を遂行して頂きたい」と挨拶。

特別功労者や優良従業員の表彰式に続いて、県消防防災課保安係の神川智裕主査が高圧ガス関係の講話や鹿児島大学地域共同研究センターの赤坂裕センター長による「空調分野における最近の技術」と題した講演も行われ、参加者は真剣な表情で聴き入っていた。

また午後からは、同協会青年部（川畑道穂部会長）主催による交通安全に対する講習会も行われた。

表彰者は次の通り。

特別功労者＝福重康雄（協会役員）浜田睦夫（南菱冷熱工業㈱）▽優良従業者＝緒方公造（㈱朝日冷機工業所）前田昭治（南国殖産㈱）上野貴男（㈱カナヤ）有上住雄（九錦設備工業㈱）徳留三朗（㈱フジヤマ）大迫逸男（日新工業㈱）田中誠（アイワ工業㈱）宮原文二（同）

講話や講演会が行われた保安大会
＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

かごしま川辺会がシンポ

地域環境保全の輪を

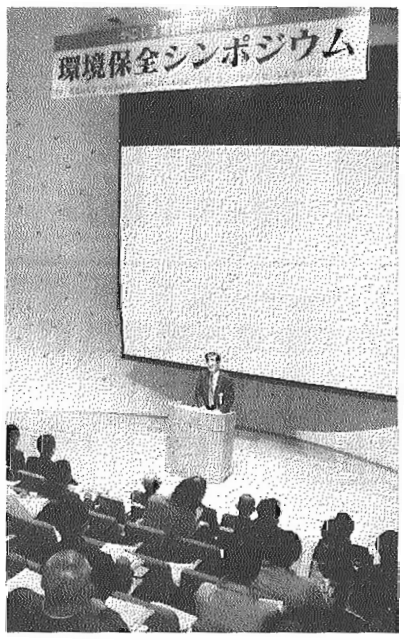
かごしま川辺会（八幡正則会長）は26日、鹿児島市の鹿児島大学稲盛会館で、「小さな町の大きな挑戦」と題した環境保全シンポジウムを開き、川辺郡川辺町が実践してきたダイオキシン無害化への活動報告や地域環境保全活動の輪を広げるシンポジウムなどに多数の参加者が聴き入った。

冒頭、八幡会長が「川辺町の取り組みを広く一般に訴えるとともに、地域住民が安心して暮せる町づくりを目指して地域環境保全活動の輪を広げていきたい」と挨拶。

引き続いて、川辺町の東展弘町長が「小さな町の大きな挑戦」と題して基調報告。世界初となるダイオキシン無害化成功までの経緯を当時の苦労話などを交えながら語った。その中で「実態を隠しても何一つ得るものはない。事実をさらけ出して、地域住民と行政が一帯となって取り組むことが重要」と訴えた。

また当日は、南日本新聞社の籾木泰編集局長を座長にしてシンポジウムが行われ、シンポジストの萬田正治同大学副学長や川辺エコレンガを開発した㈱エコ・クリエートの野村秀洋社長らが地域環境保全の今後の行方について語り合った。

かごしま川辺会は、平成9年に川辺町出身者や同町に携わる人達が中心となって設立。現在、会員は1400人以上にのぼるという。



基調報告等が行われたシンポジウム
＝鹿児島市の鹿児島大学稲盛会館で

建具の部の原田清文選手（上）と畳の部の柳田勝剛選手

＝鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で

本県で初の技能競技大会

47人が熟練技能を発揮

本県熟練技能者の技を競う第1回かごしま技能競技大会が27、28日の2日間、鹿児島市内の2会場で開催され、建具製作など5部門に47人が日頃の腕を発揮した。

大会初日、鹿児島高等技術専門学校会場では、実行委員会の森山清隆委員長が「ものづくり離れが進む昨今だが、先の技能五輪全国大会で本県選手団は金賞など7人が入賞し、技能の高さを証明した。本日は、持ち前の熟練した技能を発揮すると共に、県民に技能のすばらしさをアピールして技能尊重の社会づくりに貢献して頂きたい」と挨拶。

須賀龍郎県知事挨拶（代読）、赤崎義則鹿児島市長の来賓祝辞（同）の後、選手代表の柳田勝剛さん（柳田畳店）が力強く選手宣誓し、競技に入った。

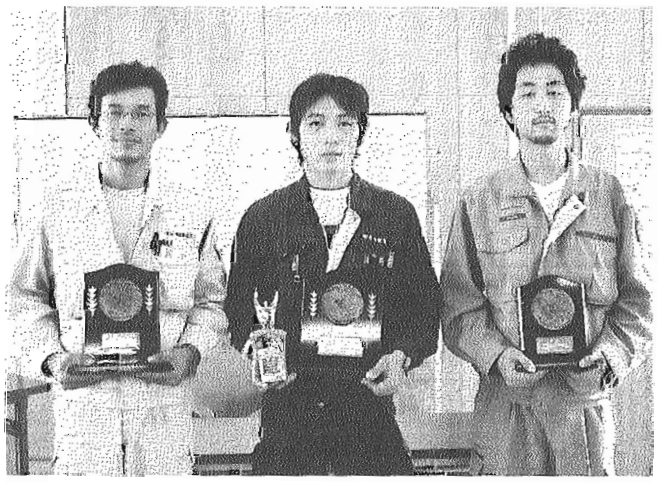
このうち、建具製作の部は幅150㌢、高さ105㌢、幅5㌢以内の衝立（ついたて）を5時間以内に製作するもので、5人が挑戦。また、10人が参加した畳製作の部は、へり付き板入れ畳製作と床の間畳製作・取り付け作業。ベテラン検定委員のほか、仕上げを美観の側面から審査する消費者代表も加わり、競技課題への取り組みを見守った。

なお、各部門の入賞者は11月21日に発表される予定である。

県電気工事業工組 技能競技大会

新保さん（吉田電気）が優勝

県電気工事業工業組合（中島博夫理事長）の第36回技能競技大会は27日、鹿児島市の鹿児島電設会館で開き、地区予選を勝ち抜いた7人が出場して技術を競い合った。その結果、曽於支部の新保友一郎さん（㈲吉田電気）が見事優勝、知事賞、理事長賞などを獲得した。


九州大会出場を決めた新保さん（中央）、田渕さん（左）、西さん＝鹿児島市の鹿児島電設会館で

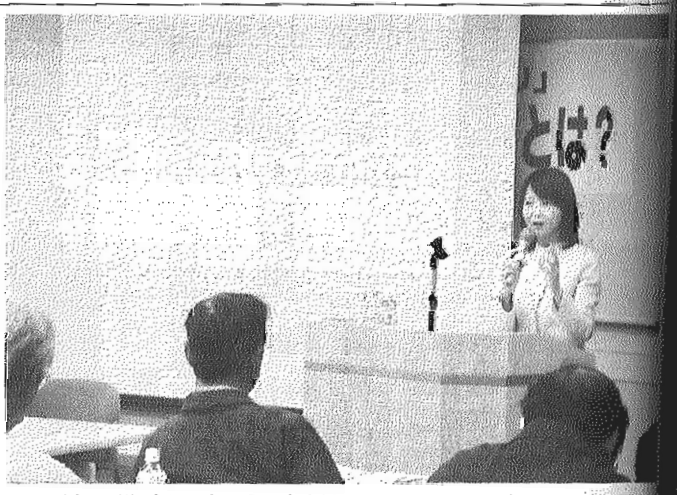
九州住環境研究会シンポ

住まいづくりを学ぶ

九州住環境研究会（事務局・㈱松下孝建設、14社）は27日、鹿児島市の県市町村自治会館で第3回性能実証フォーラム・人にやさしい「失敗しない住まいづくり」シンポジウムを開き、今後、住宅・建築関係者ら約110人が特別講演や基調講演などに聴き入り、これからの住まいづくりの参考にした。

特別講演では、東京大学大学院の坂本雄三教授が「なぜ、省エネルギー住宅なのか」と題して講演。高性能時代における住環境について話したほか、引き続き行われた基調講演では九州電力㈱電化住宅セミナー講師の田原祐子さんが、主婦の立場で経験してきた様々な住環境のあり方と「オール電化住宅」を通じて感じた本音を分かりやすく解説した。

同会は、地域住環境創造フォーラムとして学識経験者及びメーカー各社との産学協同で行ってきた地域適合型住環境づくりに、九州地方の気候や風土、環境に適合させる研究活動を行っており、このほど自然素材をテーマにした実験棟「ECO・HEART-Q21」が鹿児島市の南星徳寺ニュータウンに完成した。


特別講演や基調講演が行われたシンポジウム
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

商業手形割引
登録番号　県知事（7）第00113号
㈱川商ハウス（銀商）
鹿児島市新屋敷町1番2号　川商ハウス2F
☎（099）227-2525（代）　FAX 223-9593